

教育目標:元気な学校 明るい学校 たのしい学校

鳥川の合言葉:ありがとう やさしさいっぱい 心も笑顔

福島市立鳥川小学校

学校だより第19号

令和6年 1 月22日

校長 穂山 俊之



鳥川小だより



3学期の始業式で

3学期の始業式の「校長先生のお話」では、「湯王の洗面器」のお話をしました。(左下の  参照)

3学期、学校に来るのは51日しかありません。

光陰矢のごとしの言葉どおり、1月は行ってしまいます。2月は逃げていきます。3月はさらさらと過ぎていきます。

子どもたちは、新しい年を迎え、何かしら目標を立てたことでしょう。

毎日を大事にして新しい気持ちで過ごし、立てた目標をしっかりとやりとげて、新しい学年に進級してほしいと願っています。



「湯王の洗面器」の話の概要

今から3500年前の中国の王様、湯王（とうおう）は、洗面器の底に

「苟日新 日日新 又日新」という文字を書いて、顔を洗うときにはこの言葉を口で何回も言いながら洗ったそうです。

それはなぜか？

この言葉の意味は、「今日の自分は、昨日よりも新しく、よりよくなります。明日の自分は、今日よりも新しく、よりよくなります。日々、新しく、よりよくなるように、心がけます。」というものです。

新しい年を迎えると、「今年はやるぞー！」と思うのですが、長くは続かないもの。だから、湯王は、毎日顔を洗うたびに口にして、誓いを忘れないように心がけたというお話です。

あいさつの声が響き合う 鳥川小学校を目指して

11月から、校庭や駐車場の落ち葉清掃を始めていた6年生有志の子どもたち。

12月になると、落ち葉が少なくなったことから、今度は、昇降口や校門付近に立ち、元気よくあいさつ運動をしてくれています。

冬休みを挟んで3学期が始まって、このあいさつ運動は続いていて、登校する友だちを迎える6年生の子どもたちの元気なあいさつの声が、響いていました。素晴らしいなあ。

あいさつは、その言葉になぞらえ、次のようにするのがいいといわれます。

「あ」かるい声であいさつをする。

「い」つもあいさつをする。

「さ」きにあいさつをする。

「つ」づけてあいさつをする。

あいさつは、人と人をつなぐ魔法の言葉。

これからもみんなで、「あいさつの声が響き合う鳥川小学校」を目指しましょう！



一日一日を大切に過ごしましょう！ 卒業 Countdown カレンダー

3学期になって、6年生教室前の廊下の掲示板には、卒業までの登校回数を数え、卒業までのカウントダウンカレンダーが掲示されていました。

カレンダーには、デザイン化した“卒業まであと〇日”、“一言メッセージ”、“作成者名”が書かれています。

そして、毎日カレンダーが更新される度に、前日のカレンダーの作成者が、桜の花の形にデザインされたピンクの色画用紙をカレンダーの周囲に貼っていきます。

毎日1つずつ、桜の花が掲示され、やがて卒業する3月の終わりころには、満開の桜になっている…といった趣向です。

卒業までの残りの日数をあらためて意識すると、「日々の学習や行事など、みんなで過ごす時間を大切にしよう。」との思いがより一層強くなります。

笑顔で卒業できるよう、残りの小学校生活、一日一日を大切に過ごしましょう。



大谷選手からグローブが届きました！

ニュースでも話題になっている、ロサンゼルスドジャースの大谷翔平選手より寄贈されたグローブが本校にも届き、1月18日(木)の全校集会で子どもたちにお披露目しました。

グローブは、3個(右利き用、左利き用、右利き用小)。すべてに大谷選手のサイン(印刷)が入っています。

全校集会では、校長から大谷選手からのメッセージとともにグローブを披露した後、使い初めとして、早速、児童代表の6年生にキャッチボールをしてもらいました。

その後、6年生の代表児童から「大谷選手が、日本中の子どもたちに野球を楽しんでもらいたくてプレゼントしてくれたグローブだから、みんなで大切に仲良く使いましょう。」と、全校生に呼びかけがありました。(まったくその通りです。いいこと言うなあ。)

グローブはこの後、6年生から順に各クラスを巡回し、その後、体育の授業などで使用します。

みんなでキャッチボール等をして、楽しみましょう。

野球しようぜ！！

発育測定

3学期が始まり、始業式の翌日から順次、発育測定がおこなわれました。

1月17日(水)は、その最終日。1年生が発育測定をしました。

冬休み明けの登校初日にも感じていたことですが、多くの子どもたちの身長が、大きく伸びていました。

また、自分の順番が来るまでの待ち方も上手になっており、身長だけでなく、気持ち(心)の成長も感じられました。

